



あらかわ一義
市政だより

そくさいかいね

=平成28年・第3回定例会=



発行者 「礎」荒川一義 平成28年10月発行 No.48 E-mail:k-arakawa@nanaonet.jp

市長提案理由説明

▼平成28年・第3回定例会は、平成28年9月5日～28日迄の24日間の会期で開催されました。▼冒頭に市長は、7月3日に中島学童野球場の完成記念式典を行い、各種大会の開催をはじめ、合宿など、多くの方々の利用を期待すると共に、この地から全国そして世界の舞台を目指す子ども達が誕生する事を願っていると、その期待をふくらませました。▼9月9日～11日までの市民憲章運動推進・第51回全国大会、10月27日から29日までの第1回アジア生物文化多様性国際会議が、当市で開催される事となっており、それぞれ日本全国、世界各国からの参加者を「おもてなしの心」でお迎えし、七尾・能登の魅力をご堪能いただける様に協力して行くとなりました。▼和倉温泉運動公園の多目的グラウンドやテニスコート、七尾フラワーパークのマレット・パーク兼用ゴルフ場等の利用も堅調に推移しており、引き続き、これらの施設や観光資源を結びつけ、幅広い年齢層をターゲットに、観光誘客のほか、スポーツ合宿や大会、教育旅行の誘致など、様々な分野で、交流人口の更なる拡大に努め、地域活性化に取り組んで行く考えを示しました。▼9月1日には、ふるさと納税のインターネットサイトでの受付を開始し、返礼品として、農水産物やその加工品、工芸品や宿泊券など100品を超える商品を取りそろえ、七尾の魅力を発信し、応援していただくファンを増やし七尾市の活性化に繋げていくと致しました。▼一般会計補正予算では、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2億406万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ342億6,379万5千円としました。▼今定例会は、代表質問4名、一般質問の「一問一答方式」5名、「一括方式」4名、計13名が質問に立ち活発な議論が交わされました。▼私の議会質問は①市長再選出馬と投票率向上 ②保育行政と公立保育園の民営化 ③安心して生活できる地域福祉の充実 ④交流人口の拡大 ⑤新たな産業の創出 ⑥空き家対策と住宅政策 ⑦能登総合病院、以上の7点20項目について質問いたしました。今議会の概ねについてご報告致します。

■平成28年度9月補正予算の概要(一般会計)

(1)一般会計の補正予算額 2億406万円の増額

①一般会計9月補正予算の推移

年 度	9月補正予算額	9月補正後予算額	対前年度比
平成28年度	2億406万円	342億6,379万5千円	+5.3%
平成27年度	3億8,177万円	325億4,174万2千円	+2.1%
平成26年度	2億6,439万6千円	318億8,597万7千円	△3.9%

②財源内訳

国庫支出金	978万6千円	県支出金	3,999万6千円
分担金及び負担金	△1,230万5千円	地方交付税、	3,991万5千円
寄付金	10万円	地方特例交付金	97万2千円
繰越金	1億2,300万9千円	諸収入	258万7千円



(2)一般会計の主要事業

(千円)

事業名	事業内容	事業費	担当課
コミュニティセンター 整備事業費	矢田郷地区コミュニティセンター移転改修実施設計業務 ○事業箇所：七尾サンライフプラザ ○改修内容：本府中図書館間仕切り、中ホール体育館 ○移転予定：平成30年4月	4,925	総務課
駐車場管理費	七尾市袖ヶ江立体駐車場改修に伴う実施設計業務 ○改修内容：防水工事、外壁補強、鉄骨部補修ほか ○事業期間：平成28年度～平成29年度	1,750	
児童福祉総務費	多子世帯保育料無料化事業費に伴うシステム改修 ○改修内容：国の第2子半額、第3子無料化 年収360万円未満相当世帯の決定	1,685	
保育所費	公立保育園…中島保育園駐車場舗装及び小屋解体撤去	1,685	子育て 支援課
	私立保育所保育費（右図の多子世帯保育料無料化を参照） ○国の多子世帯保育料負担軽減(H28年4月1日～) 年収約360万円未満相当世帯の第2子半額、第3子無料化。ひとり親世帯は第1子半額、第2子以降無料化 ○石川県多子世帯保育料無料化(H28年11月～) 国の「第2子半額」後の保護者負担を県と市で折半	5,027	
予防接種費	A類疾病等予防接種事業(B型海肝炎) ○対象者：H28年4月1日生まれ以後で1歳に至るまでの子(接種回数3回)	3,162	健康推進課
地球温暖化・省エネルギー 対策費	指定避難所の小中学校出入り口付近の街路灯設置費用 ○太陽光・風力LED式街路灯の設置 ○設置：小学校10校、中学校3校	26,000	環境課
農業振興費	多面的機能支払交付金 ○交付対象組織及び農地面積増 組織数：89組織→93組織(+4組織)	3,353	農林課
	中山間地域直接支払交付金 農地面積増加(7集落) 超急傾斜(2集落)	7,010	
	青年就農給付金事業 新規採択者2名分の追加	3,000	
中学校再編整備事業費	七尾中学校及び中島中学校開校準備費(引っ越し費を含む) ○消耗品費：校章、名札、団旗など ○被服費：女子ネクタイ、部活ユニホーム ○備品購入：校旗、標旗など	15,117	教育総務課
文化振興事業費	能登演劇堂ロングラン公演に向けた準備事業(広報活動) ○演目：「肝っ玉おっ母と子供たち」無名塾 ○期間：平成29年10月～11月(25回)	8,500	文化課

(3)特別会計の補正予算額 993万7千円の増額

①各会計補正予算の概要

	補正予算額	主な内容
介護保険特別会計	92万7千円	施設に対する見守りセンサー導入助成
国民健康保険特別会計	259万2千円	都道府県化に伴うシステム改修
下水道事業特別会計	641万8千円	経営戦略策定業務委託 ほか
計	993万7千円	

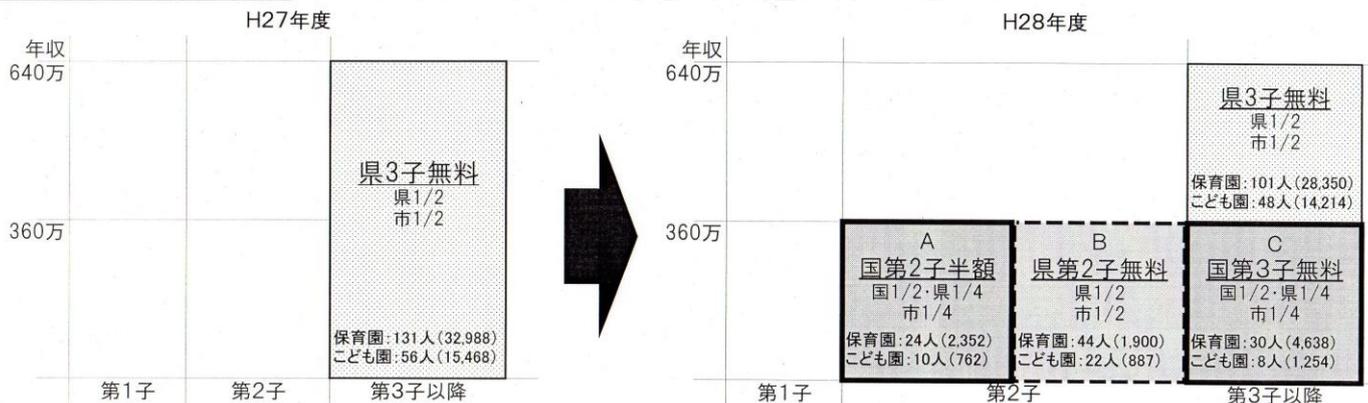
②特別会計9月補正予算の推移

年 度	9月補正予算額	9月補正後予算額	特別会計の数
平成28年度	993万7千円	201億5,778万2千円	8会計
平成27年度	2,862万7千円	199億1,262万9千円	8会計
平成26年度	2,195万5千円	190億740万4千円	8会計

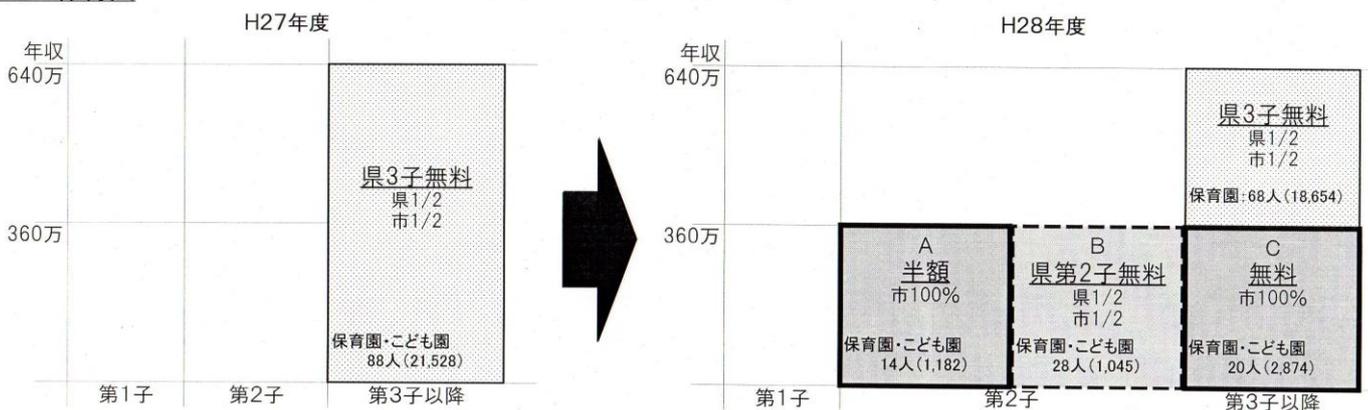


■多子世帯保育料無料化 [国：第2子半額、第3子以降無料 県：第2子無料]

●私立保育園・認定こども園 ()内の数字は、この事により軽減される金額です。単位:千円



●公立保育園 ()内の数字は、この事により軽減される金額です。単位:千円



■ 荒川一義 平成27年度・政務活動費報告(円)

図書購入費	30,402
広報作成郵送費	253,278
研修・セミナー費	76,320
計	360,000

政務活動費は年額36万円の交付です。

【七尾市議会政務活動費】

- ✓ 用途基準を設け、活動費として支出できる経費とできない経費の区別が分かる様にしています。
- ✓ 領収書を添付し、1円単位で記載されています。
- ✓ 立替払い請求で、議会事務局の厳正なチェックを経て支払われます。
- ✓ 情報公開請求により、内容が確認できます。

【議会質問】



■保育園の民営化について



質問 公立保育園の民営化に向けた新たな取り組みを伺います。

市長答弁 「袖ヶ江保育園」と「能登島保育園」で民営化の話を進めています。現在、健康福祉審議会で審議をいただいておりますが、民営化によって多様な保育サービスを提供すると共に、軽減された財源を、さらなる子育て支援に充当し活用を図って行きます。関係保護者の皆さまには、民営化の方向性の説明や、アンケート調査を行い、民営化へ移行する事によって、どのような保育サービスの充実を求めるのか、ご意見を伺っています。今後は、ご意見を集約し保護者のニーズに対応した民営化が実現する様に取り組んで行きます。

■地域包括ケアシステムの実現



質問 地域包括ケアシステムの実現に向けた取り組みについて伺います。

市長答弁 システムの機能ワークは、在宅医療と介護の連携の推進だと思います。増える認知症高齢者の対策として、認知症サポーターと共に、本人、家族、地域住民との交流の場の認知症カフェづくりを進めて行きます。関係機関と連携し、早期の訪問支援にも取り組んで行く考えです。平成 29 年度から新しい総合事業ですが、訪問介護、通所介護の一部を市の事業へ移し、対象者のニーズに応じた生活支援のみを、ホームヘルプサービスや短時間デーサービスとして提供して行きます。今後も介護予防活動の拠点づくりを進め、医療や介護が必要な状態になった時に、日常生活圏で支援が受けられる態勢づくりを進めて行きます。

■和倉温泉多目的グラウンドについて



質問 和倉温泉多目的グラウンド人工芝の張替え予定とメンテナンスの充実・強化について伺います。

市長答弁 早期解決に向けた財源として 2 億円の基金の積み増しをしたところです。現在、人工芝の取り扱いメーカー数社から提案があり、人工芝の性能、施工方法や工期、施工後のメンテナンスなど、優位性を比較検討しています。売込みによって軸足がぶれないよう、実際に使われている状況を把握しながら、耐用年数が伸び、管理しやすく、工期も使う期間が決まっている事から、工夫をしながら1日も早く発注したいと考えています。

■空き家対策と住宅政策について



質問 ①現在の空き家と特定空き家の状況と、その分布状況から見てくる地域や市の実情。②老朽危険空家等解消支援事業の状況。③七尾市における今後の住宅政策の考え方と課題・対策。

市長・建設部長答弁 ①住環境の悪化を防ぐ観点から、空家の実態調査を進めてきました。8 月末現在で 212 町会より回答をいただき、回答率 85.14%です。管理されていない空き家は 1,406 戸で、その内危険空家が 276 戸 19.63%でした。特定空き家はありません。分布状況は、空き家戸数が特に多い地区として、住宅が密集している市内中心部で 332 戸、矢田郷地区 174 戸、徳田地区で 104 戸という状況です。その他の地区ではばらつきはあるものの 5 戸～67 戸の空き家があり、また危険空家が比較的多い地区には、矢田郷地区 38 戸、相馬地区で 21 戸、南大呑と高階地区それぞれ 19 戸となっています。②老朽危険空家等解消支援事業の状況は、町会長の方々より危険な空家と報告があった 276 戸の内、緊急性があり優先的にみてほしいと要請があった 66 戸の危険空家について、順次、現地調査を行い、その内、市で行っている老朽危険空家は 38 戸あり、その所有者や管理者に対し、支援事業の利用について助言や指導を行った結果、12 戸の方が制度利用の意向を示し、その内、補助金の申請が 8 件ありました。解体中の物件は 6 件、すでに解体完了は 2 件です。申請に至っていない 4 件については現在、解体業者と調整を行っています。③市における今後の住宅政策の主要な考えですが、一つとして、若者世帯や子育て世帯が安心して暮らせる住宅、定住促進からの視点です。二つとして、高齢者が自立して暮らすことができる住宅、バリアフリーを含む福祉的な視点からです。三つとして、災害に強い町づくりのための住宅、耐震化等の対応です。以上の三点を今後改訂される第 2 次七尾市総合計画に併せ、主要な考えを盛り込み、七尾市住宅マスタープランを、住宅版の別途計画の位置づけで策定したいと考えています。

